

授業科目	上級日本語					単位	1		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO12003J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP2-2				
担当教員	友原 嘉彦								
授業概要	日本語で書かれた社会学分野の学術書を輪読し、自由に意見を述べたり、毎回の漢字や外来語の小テストの勉強をしたり、さらには3回のレポートを執筆したりすることにより、日本語の四技能(読む、書く、話す、聞く)を涵養し、また論理性についても身につける。少人数クラスであるため、日頃からの予習や復習は欠かせず、短期間で日本語の能力を大きく飛躍させることを目的とする。								
学生が達成すべき行動目標	1. 日本語の四技能(読む、書く、聞く、話す)を向上させることができる。 2. 日本語で書かれた社会学分野の学術書を読むことができる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	30	50	0	0	20	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)		30					30		
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)			20			10	30		
思考・判断 (DP2-2)			30			10	40		
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度(DP4-1)									
態度(DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
ここまで習得した日本語を使って何かおもしろいことに挑戦することができる。				ここまで習得した日本語を使って何かおもしろいことに挑戦してみたいような気持ちになることができる。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	・ガイダンス ・近代社会の特徴			講義		予習・復習		90	

2	さくらももこ概説	講義	予習・復習	90
3	さくらももこの生涯 1(中学校時代まで)	講義	予習・復習	90
4	さくらももこの生涯 2(短期大学時代まで)	講義	予習・復習	90
5	さくらももこの生涯 3(1990 年代まで)	講義	予習・復習	90
6	さくらももこの生涯 4(2000 年代まで)	講義	予習・復習	90
7	さくらももこの生涯 5(2018 年まで)	講義	予習・復習	90
8	さくらももこと後期近代(小括)	講義	予習・復習	90
9	さくらももこの観光活動概説	講義	予習・復習	90
10	さくらももこの観光行動 1(代表作「ちびまる子ちゃん」を例に)	講義	予習・復習	90
11	さくらももこの観光行動 2(バリとの邂逅)	講義	予習・復習	90
12	さくらももこの観光行動 3(バリへの関与)	講義	予習・復習	90
13	さくらももこの観光行動 4(サードエリアとしてのバリ)	講義	予習・復習	90
14	さくらももこの観光行動 5(さくらももこを通して考えるサードエリアの特徴)	講義	予習・復習	90
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本語能力試験(JLPT)N1レベル以上の日本語語彙・文法知識及び読解・聴解能力			
テキスト	友原嘉彦編著(2021)『ちびまる子ちゃんの社会学』、古今書院(*2021年の夏季に刊行されます)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本語に対応した(電子)辞書、日本語の文法書。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	毎日、少しでも何か日本語の文章を読むようにしてください。また、単に日本語がわかるようになるだけでなく、日本語に訳された様々な国の文章に触れることで世界が広がるのではないかと思います。			
達成度評価に関するコメント	日本語を学べばどんなことに可能性が開けるのか、よく考えてみてください。 達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけでなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、過ぎた講義回での項目について復習していることで簡潔にまとめて説明してくれたり、といったことが得点の増加に関係します。一方、これらが不十分なだけでなく、授業を中断せざるをえないほどの声量で授業とは無関係のことについてしゃべっているなどした場合は得点の減少に繋がります。			

